

オープンカレッジ通信

No.3 2021.6.15

「オープンカレッジ講座」がスタートしました。

令和3年度オープンカレッジ講座が、コロナウイルス感染防止対策に努め、6月1日からスタートしました。今年度は56名のお申込みがあり、うち初めての方は14名いらっしゃいます。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。今回の通信では、各講座の第1回目の様子をお知らせします。

また、神社・神道を知る講座（入門編）、神社・神道を知る講座（8）は、講師の都合で開講が10月に延期になりました。心待ちにされていた皆様には、お詫び申し上げます。新しい日程等につきましては、決まり次第改めてご案内させていただきます。

書の美への誘いー初心者からベテランまでー

国文学科講師：瀧野 幸三

「ハイレベルな講義ときめ細かな指導で、有意義な時間」、「先生の品格あふれるユーモアな指導が毎回楽しみ」などの感想を、毎年受講生の方々からいただいています。

今年度は、書道の神様と言われる^{おうぎし}王羲之が書いた、書道史上最も有名な書作品『蘭亭序』を中心に学ぶ予定です。



『西蝦夷地旅行日記』を読む（1）

図書館司書課程講師：高橋 由彦

津軽藩士の竹内甚左衛門は蝦夷地見聞のため、文化6年（1809）6月29日に津軽藩の弘前を出発。7月3日に三厩^{みんまや}に着き、風待ちをして7月5日船で竜飛岬、白神崎を回って福山（松前）に到着しました。

古文書読解の基礎を学びながら、竹内甚左衛門と共に旅をしている気分も味わえます。次回は何が起こるのか楽しみですね。

絵画の制作A

幼児・児童教育学科准教授：武石 英孝

講座では人物を描きます。「まずは細かいことを気にせず、第一印象、シルエットをとらえましょう。」クロッキー（速写画）10分間×3ポーズの後は、タブロー（完成作品）のデッサン。静かな図工室に、鉛筆を走らせる心地よい音が流れました。次回は細部にいたるまで描いていきます。モデルは、本学の学生です。



夏の大人の野遊び入門

幼児・児童教育学科教授：田中 一徳

第1回目はロープワーク。教室でのオリエンテーションの後、構内のアウトドアキャンパスへ移動しました。

ロープ一本で洗濯物干しから人命救助まで役立つ、数種類の結び方を学びました。写真は8の字結びです。

古文書から読み解く関ヶ原の戦いA

国文学科准教授：堀越 祐一

1582年本能寺の変から関ヶ原の戦いに至るまで、時系列に沿って史実を明らかにしていきます。

様々な古文書を読み解きながら、真実に迫っていきます。



大人のためのクラシックピアノ

幼児・児童教育学科講師：寺田 有希

講座では、それぞれ個室で練習し、順番に個別指導を受けます。受講生は挑戦したい楽譜を持参。受講のきっかけは、「子どもが幼いころにピアノを習っていて、子育てが一段落し、わたしも弾いてみたくなりました。」「コードを覚えていつか弾き語りをしてみたい。」など様々です。